



市立病院トピックス

問合せ 市立美唄病院事務局 ☎ 63-4171

■臨時発熱外来を開設します

◆臨時発熱外来のご案内

当院では、患者さんに安心して受診していただくため、9月から臨時発熱外来を開設します。発熱症状のある患者さんは、そのほかの患者さんとの入り口を分け、別の場所で診察します。

院内感染防止のために、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

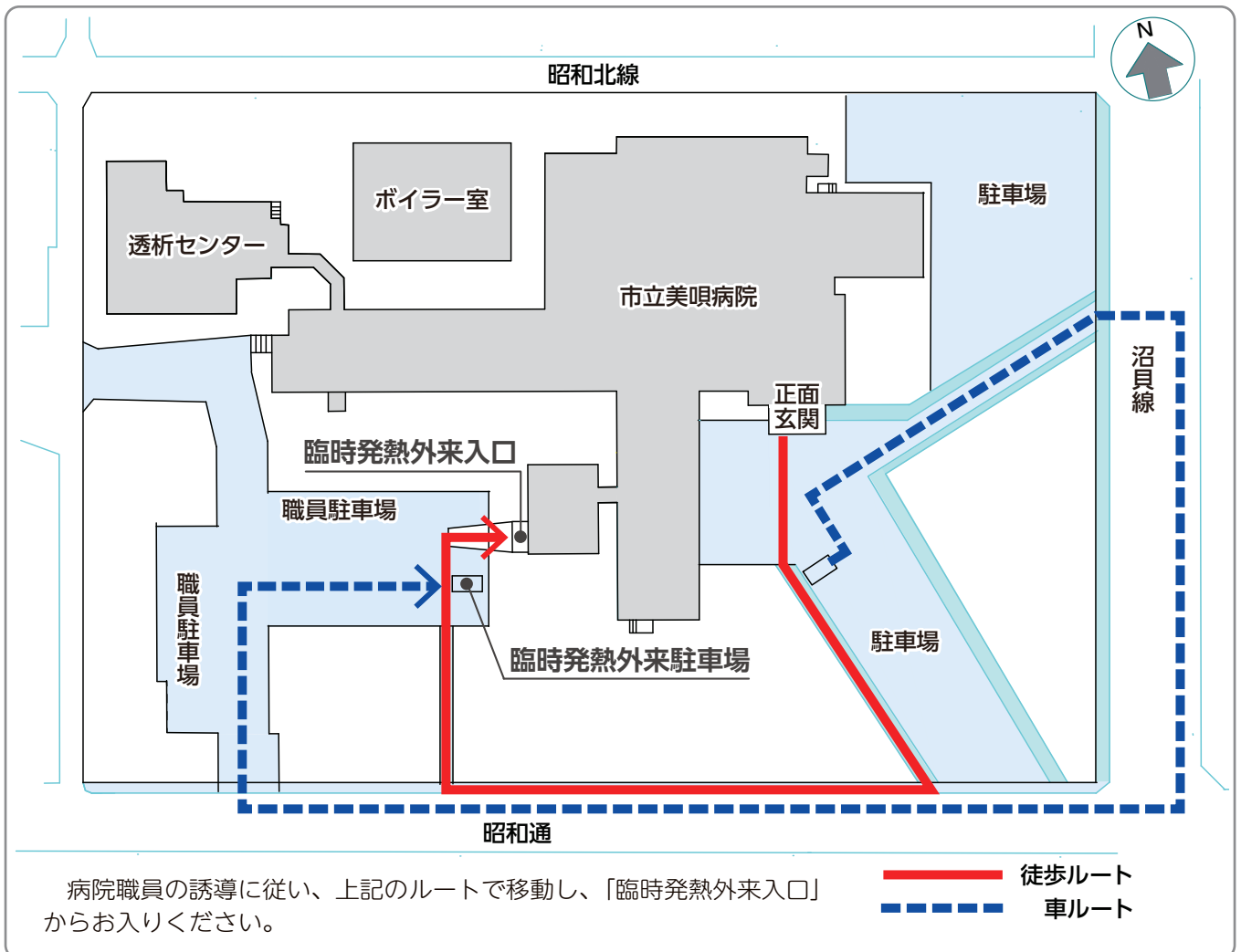
◆受診方法

発熱・咳・倦怠感などがある方は、まず下記の「帰国者・接触者相談センター」に電話で相談し、指示を受けてください。その上で当院を受診する場合は**電話で受診予約をしてください**。病院職員が誘導しますので、**必ず到着時にも病院に電話をしてください**。

※強いだるさや息苦しさが数日続くなど新型コロナウイルス感染症の感染が心配な方は、「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

帰国者・接触者相談センター

- ・岩見沢保健所 ☎ 0126-20-0122 (8時45分～17時30分 (土・日曜日、祝日を除く))
- ・北海道保健福祉部 健康安全局地域保健課 ☎ 011-204-5020 (24時間対応)



※看護部地域発信委員会だよりは休載します。

市立美唄病院の建替えについて

問合せ
市立美唄病院事務局医療拠点づくり推進室
☎63-4171

第2回市立美唄病院建替え基本構想・基本計画策定市民委員会を開催しました

8月4日、第2回の市民委員会を開催し、「新しい病院の基本的な考え方」、「地域医療・在宅医療の連携イメージ」の資料をもとに、新病院の基本構想に関して意見交換を行いました。

市民委員からは、「在宅医療の充実」、「医療、介護の連携と情報発信の強化」、「次代を担う子育て世代への配慮」、「将来的な地域医療連携推進法人化の検討」などについて発言がありました。

また、次回委員会に向けて、「できるだけ具体的な基本計画の提案をいただきたい」、「建替えありきでなく近隣病院との連携も踏まえて検討してほしい」という意見をいただきました。

なお、本委員会の議事録や資料については、市のホームページでご覧いただけます。



No.52

地域おこし協力隊

活動日記

6月1日より地域おこし協力隊として活動しています。茶谷堅志朗です。

室蘭市出身で、道内の高校で英語教師として5年間勤め、昨年は青年海外協力隊としてブラジルで子どもたちに野球の指導をしていました。

地域おこし協力隊としては中心市街地活性化を目的に活動しており、8月1日と2日には美唄ブラックダイヤモンドの選手たちと地域の皆さんの交流を図る夏祭りを企画し、美唄商工会議所青年部の皆さんの協力をいただき実行することができました。

今後中心市街地に足を運んでもらえるようなイベントなどを企画していきますのでよろしく願います。



問合せ

経済観光課 ☎63・0111

まる まる

〇〇マルシェ開催します！

問合せ 地域おこし協力隊
☎090-3892-9931

と き 9月12日(土) 10時~16時

ところ コアビバイ

内容 今回の〇〇マルシェは「癒しのとき...出合い」。ビーズアクセサリーや陶芸、トルペイント、パンの販売のほか、カードリーディングやキネシセラピー体験。さらには、協力隊の黄くんの台湾茶、キッチンカーと盛りだくさん！新型コロナ対策のため、マスクを着用して、ぜひ遊びに来てください！

美唄市農業委員会委員をご紹介します

問合せ
農業委員会事務局 ☎63-0142



任期満了に伴い、美唄市農業委員会委員として7月20日に次の18人が任命されました。任期は令和5年7月19日までです。

畑雄二、峯崎光行、赤澤良一、中澤裕幸、岩間秀一、長谷川彰徳、鈴木孝典、吉田彰、澁谷英昭、今田邦彦、白木義一、太田秀樹、柏葉政良、高橋修、貞廣樹良、齊藤良平、田中政幸、森良明(届出順、敬称略)